

入試で求められる力を表したものが「思考スキル」です。以下に、難関合格スキル模試で活用する思考スキルと具体的な内容を示しています。特定の科目や分野に限らず活用できる力となるため、問題に取り組むときには、意識して活用するとよいでしょう。

○情報を獲得する

- ・問題文から条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどを正しく読み取る

○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りに操作を正しく行う

○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

○順序立てて筋道をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見抜く

○特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化する部分、変化しない部分に注目する
- ・際立った部分（計算式の数、素数、約数、平方数、…など）に注目する
- ・和と差、倍数関係や大小関係に注目する
- ・対称性、規則や周期に注目する

○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○特定の状況を仮定する

- ・極端な場合を想定して考える
(もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など)
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして考える
- ・複数のものが移動するとき、特定のものだけを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲や大きさの見当をつける

○知識

- ・情報を手がかりとして、持っている知識を想起する
- ・想起した知識を正しく運用して解答する

○理由

- ・筆者の意見や判断の根拠を示す
- ・ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・現象の背後にあることを明らかにする

○置き換え

- ・文字情報を別の形で言い換える
- ・問題の状況を図表などに表す
- ・未知のものを自分が知っている形で表す
- ・具体的な数と比を自由に行き来する
- ・情報を式化する

○比較

- ・多角的な視点で複数のことがらを比べる
- ・複数のことがらの共通点や差異を明確にする

○分類

- ・個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・共通点、相違点に着目して、情報を切り分けていく

○具体・抽象

- ・文章から筆者の挙げる例、特定の状況や心情を取り出す
- ・ある特徴を持つものを示す
- ・個々の事例から具体的な要素を除いて形式化する
- ・個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・情報どうしを結びつける
- ・要素間の意味を捉え、情報を補う
- ・部分と全体のそれぞれが互いに与えあう影響に目を向ける
- ・ある目的のための手段となることを見つけ出す

○推論

- ・ある情報から、論理的な帰結やさらに別の情報を導き出す
- ・情報をもとに、未来・過去のことを予測する